

# アミノインデックス<sup>®</sup> がんリスクスクリーニング (AICS<sup>®</sup>) 検査結果への対応について

\*臨床アミノ酸研究会のWEBサイトから抜粋。各ランクに対するコメントをご参照ください。

すべて、 ランクA	今回の検査では、がんのリスクは低いと考えられますが、毎年、*通常のがん検診をお受けください。
いずれかが、 ランクB	(ランクBであったがん種について) 通常的生活をされている方より、がんのリスクが約1.5倍程度高いこととなります。*通常のがん検診をお受けください。
いずれかが、 ランクC	(ランクCであったがん種について) がんのリスクは高いと考えられます。精密検査をお受けください。

\*「通常のがん検診」とは、以下のような検査です。

胃X線検査や胃内視鏡検査（胃がん）、胸部X線検査と喀痰細胞診併用法（肺がん）、便潜血検査（大腸がん）、腹部超音波検査やCA19-9検査（膵臓がん）、視触診+マンモグラフィや超音波検査（乳がん）、細胞診（子宮頸がん）、PSA検査（前立腺がん）等が該当します。

●複数のがん種でランクCであった場合

報告書では、同時に複数のがん種に関する結果が表示されますが、各がん種については独立した結果と考え、ランクCであったがん種すべてについて精密検査をお勧めします。

●他の1次検査と併用する場合

各1次検査は各々独立した検査と考え、他の1次検査で陽性（もしくはランクC）であった場合には、精密検査の受診をお勧めします。

\*出典元：臨床アミノ酸研究会 <https://www.c-aminoacid.jp/>

臨床アミノ酸研究会とは、アミノ酸と疾病や健康・栄養の関係について研究を行い、その臨床的研究結果を広く情報発信している医師を中心とした研究会です。